

平成 20 年 9 月 1 日

温度センサー、湿度センサー、モーションセンサーを内蔵したセンサータグ（アクティブ RFID）を 9 月末から輸入販売開始。
食品・薬品・穀物等の保管管理や温室栽培・工場等の環境監視に最適です。

自動認識システム開発のアイニックス株式会社（東京都目黒区大橋 1-6-2 電話 03-5728-7500 代表取締役 平本純也）は、台湾の RFID メーカーであるサイリス社（SYRIS Technology Corporation）と日本における販売代理店契約を締結し、温度センサー、湿度センサー、モーションセンサーを内蔵したセンサータグ（アクティブ RFID）を 9 月末から販売を開始します。

サイリス社は、1990 年に設立された RFID のベンチャー企業で、入退室管理システムや看護管理システムなどに多くの販売実績を持っています。アイニックスは、自動認識機器の販売、バーコードソフトウェア開発、物流システム構築等を行っており、RFID においては駐輪場システムを開発しています。近年、食の安全が注目されていることから、これを実現するためのキーデバイスとして本製品を輸入販売する共に、保管管理や環境監視などのシステムも開発して参ります。

アクティブ式の RFID は、バッテリーを内蔵しているため、リーダライタからの電波エネルギーを利用して送信するパッシブ式に比べ通信距離が大きいのが特長です。サイリス社のセンサータグ SYTAG245-HT1 は、マイクロ波帯を使用しており、無線 LAN と同程度の約 60m の通信が可能です。また、固有 ID に温度データと湿度データと付加して一定間隔の周期で送信を行うので、設置場所の温度と湿度を遠隔で監視できます。モーションセンサーは、対象物が動いたときに動作し、スイッチ信号を送信します。送信間隔は、5mS から 85 時間の間で自由に設定できますが、2.5 秒間隔の送信であっても約 8 年間動作する大容量のバッテリーを搭載しています。バッテリーがなくなった場合は、低バッテリー信号をホストに知らせると共に、LED が点灯して作業者にも知らせます。また、バッテリーは、現場で容易に交換ができるようになっています。

環境監視では、遠隔でモニターするだけでなく、現場から異常を知らせることも必要です。そのためにコールボタンを内蔵し、スイッチ信号を送信できます。また、逆にホストからセンサータグに対してブザーで知らせることもできます。

RFID リーダ SYRD245-1N は、イーサネット LAN の他に、RS232C、RS485 のインターフェースに対応しています。また、同じエリアで複数のタグ使用できるように衝突防止機能を持っています。更に、受信信号強度情報とリンク品質情報を出力できますので、複数のリーダを使用することによって三角測量の原理によりタグのロケーションを知ることができます。

センサータグは、食品や薬品などの冷凍・冷蔵保存の管理や、穀物など低温保存の管理に最適です。また、温室栽培、保育器、データセンタなど、局所的な環境監視が必要な場合も設置が容易です。大変便利です。更に、工場やプラントなど巡回監視を行っているような場合でも、センサータグを使用することによって大幅な省力化が実現できます。

温度・湿度センサータグ SYTAG245-HT1 のオープン参考価格は 39,000 円（税別）、RFID リーダー SYRD245-1N のオープン参考価格は 180,000 円（税別）です。そして、初年度、機器販売のみで 3,000 万円の販売を見込んでいます。



温度・湿度センサータグ
SYTAG245-HT1



アクティブ RFID リーダー
SYRD245-1N